

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【公開番号】特開2009-21244(P2009-21244A)

【公開日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-004

【出願番号】特願2008-179662(P2008-179662)

【国際特許分類】

H 0 1 H 13/02 (2006.01)

H 0 1 H 13/62 (2006.01)

【F I】

H 0 1 H 13/02 B

H 0 1 H 13/62

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月6日(2010.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

非常押しボタン(10)であって、

少なくとも1つのガイド面(94)を有するハウジング(12)と、

該ハウジング(12)によって支持され、作動位置と解放位置の間を略直線軸に沿って往復するアクチュエータ(18)であって、その上に位置する少なくとも1つの表示窓(108)を有する該アクチュエータ(18)と、

該アクチュエータ(18)のヘッドに近接して配置され、それに対して移動するように付勢される表示器(20)であって、該非常押しボタンの状態を提示し、該アクチュエータ(18)のヘッドの該表示窓(108)から選択的に視認できるように構成されるしるしを備えた表示面を有しており、そこから延在し、該少なくとも1つのガイド面(94)と係合する少なくとも1つのアーム(80)を有する該表示器(20)とからなり、該アクチュエータ(18)のヘッドが該作動位置へ往復すると、該少なくとも1つのアーム(80)が該ハウジング(12)の該少なくとも1つのガイド面(94)によってある位置まで付勢されるように構成されることによって、該表示器(20)、さらには該しるしが移動して、該少なくとも1つの窓(108)から視認できるように状態変化を表すことができ、

該表示器(20)が回転可能に配置され、該しるしが該表示窓(108)から視認できる位置まで回転するものであり、

該アクチュエータ(18)が操作面を有しており、該少なくとも1つの表示窓(108)が該操作面上に位置し、

該ハウジング(12)がハウジングキャビティ(24)を有しており、  
前記非常押しボタンは、さらに、

該ハウジングキャビティ(24)の内部に付勢され、該アクチュエータ(18)の該直線軸にほぼ平行な回転軸のまわりを回転可能なロータと、

ピン(44)と、

これもまた該ハウジングキャビティ(24)の内部に位置しており、該ピン(44)を介して該ロータと相互接続し、該ピン(44)のらせん経路を形成するように寸法決めし

て構成されたキャビティを有するプランジャ（１４）と、

該プランジャ（１４）と係合可能で、該プランジャ（１４）を支持するピストン（３２）とを有する、非常押しボタン。

【請求項２】

前記しるしは、色、文字および構造フラグからなるグループの少なくとも１つである、請求項１に記載の非常押しボタン。

【請求項３】

該アクチュエータ（１８）と該表示器（２０）の間に位置する表示スクリーンをさらに有している、請求項１に記載の非常押しボタン。

【請求項４】

前記表示スクリーンが、少なくとも１つの開口を有する一般的な薄いディスクであり、ポリアミド、ポリエチレンおよびポリカーボネートからなるグループの少なくとも１つである低摩擦材料からなっている、請求項３に記載の非常押しボタン。

【請求項５】

該ハウジング（１２）が略円筒状の形状で、該ハウジングキャビティを画定するハウジング壁（２２）を有し、該ハウジング壁（２２）がその上に該ハウジングガイド面（９４）が延在するハウジング壁の外面を有しており、

該アクチュエータ（１８）が略円筒状の形状で、該ハウジング壁（２２）に嵌合するように寸法決めして構成されるアクチュエータ壁を有している、請求項１に記載の非常押しボタン。

【請求項６】

前記少なくとも１つのガイド面（９４）が傾斜部分と略平坦部分とを有する、請求項５に記載の非常押しボタン。

【請求項７】

該少なくとも１つの表示アーム（８０）が一对の表示アームからなり、

該少なくとも１つのガイド面（９４）が一对のガイド面（９４）からなり、

各表示アーム（８０）が各ガイド面（９４）を支えるように構成されている、請求項６に記載の非常押しボタン。

【請求項８】

該傾斜部分が、該直線軸に対して４５度～７５度の範囲の角度をなして配置される、請求項６に記載の非常押しボタン。

【請求項９】

該傾斜部分が、該直線軸に対し略６０度の角度をなして配置される、請求項８に記載の非常押しボタン。

【請求項１０】

該ハウジング壁（２２）の外面が略円筒状であり、各ガイド面（９４）が該ハウジング壁（２２）の外面から半径方向にほぼ垂直に延在し、該ハウジング壁（２２）の縮径部分で終端する、請求項７に記載の非常押しボタン。

【請求項１１】

該ハウジング壁（２２）が、一对のディボット部分（１０２）を有するハウジング壁（２２）の端面で終端し、

該表示器（２０）が、一般的に段付ディスク形状と、表示開口と、第１直径部分と、第２直径部分とを有しており、各アーム（８０）が該第１直径部分に接続するショルダ部分９０から延在しており、各ショルダ部分が該ハウジング（１２）の壁（２２）の各ディボット部分（１０２）と噛み合うように寸法決めして構成されており、各アーム（８０）が該ハウジング（１２）の壁（２２）の各縮径部分に隣接して嵌合するように寸法決めして構成されている、請求項１０に記載の非常押しボタン。

【請求項１２】

前記アクチュエータ、表示器及びハウジングはそれぞれ、高分子物質からなる、請求項１に記載の非常押しボタン。